

# 議会初日、議員定数削減を採決



## 米原市民報

日本共産党米原市会議員  
山脇正孝 Tel.52-1093  
日本共産党湖北地区議員団  
事務局藤田正雄 Tel.55-1527

# 定数削減条例反対3・賛成14で可決

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

3月8日に開催された市議会本会議初日において、米原市議会の議員の定数を18から16に削減する条例が賛成14、反対3で可決されました。反対は、山脇正孝、堀江一三、西堀幸の各議員。また反対討論は、山脇議員、堀江議員、賛成討論は、後藤英樹議員が行いました。議員報酬及び政務活動費の引上げ条例は提案されませんでした。

### 山脇議員の反対討論

ります。議員定数削減は、この大切な議員活動を弱めるものです。

### 議会役割低下の懸念

山脇議員は3つの反対理由を主張しました。その第一は議会と首長の2元代表制との関係で、議会の役割低下が懸念されることです。2元代表制と謳われながらも、ひとりの首長の強い権限と多数で弱い議会という関係のなかで、どうしてわざわざ、議会の力を、さらに弱めようとするのでしょうか。2元代表制との関係で、市政への監視とか、議会としての政策提言をしていくには、削減という道は、考えにくいと言わざるを得ません。16人の定数では、3つの委員会の従来の定数を維持することすら、できなくなりそうです。できなくなるから、ひとりの議員が複数所属で済みますのでしょうか。また、議会基本条例による活性化というけれど、その芯となる議員数の減少は、議員の力の弱体化、つまり、チーム議会の土台を揺るがし、議会活性化の勢いを削ぐものとなるでしょう。

### 議会活性化に逆行

第三は議会活性化の課題解決と逆行することです。議会活性化の課題として、「若い世代や女性議員が立候補しやすい環境」「現場において市民の意見を聞く」

「議会活動の見える化」などが挙げられています。また私は、今回の答申を出した議会報酬等審議会のほとんどを傍聴しましたが、女性やより若い人たちに議員力あるものにしてほしいという意見が多数出されていました。定数削減に反対の意見もありました。しかしながら、議員定数削減で、議会活性化の望みは遠くないそうです。

### 市民の要求が届かない

第二は新型コロナウイルス禍のなか、市民の要求が行政に届きにくくなることです。議員の大切な役割のひとつは、市民の要望や願いを、議会を通して実現することにある。以上3点において、市民の願いに寄り添う、活力ある議会をめざして、議員定数を2議席削減する発議第1号に反対します。

### 守る会を結成

醒井地域の医療を守る会 3月5日(金)午後7時から、枝折公民館において、「醒井地域の医療を考える懇談会」を開催。醒井地域の自治会長・民生児童委員のみなさん、市議会議員3名(吉田・鏑田・山脇)事務局等20名の参加で会を結成しました。

会長には醒井自治会長の江竜謙一さん、副会長に下丹生自治会長の霜越憲一さん、枝折の民生児童委員の大桑羊子さんを選任しました。吉田・鏑田・山脇の3議員は顧問に、事務局は富田茂・富田清和です。すめることとしました。

参加者からは、地域の医療機関が無くなっては困ると一日も早い診療所の設置を求める切実な声が異口同音に出されました。

### 要望署名に「協力を

会は運営の申し合わせ事項や結成アピールを採択し、懇談会後の役員会で市長あての要望署名を行うことや、チラシなどでの宣伝等についても話し合いました。読者のみなさんも署名活動にご協力下さい。



2021/3/5

### 雑感

共産党の宣伝を兼ねて奥伊吹の板並、大久保に訪問しました。今までは上板並と大久保の診療所が本年4月から廃止になるとのことで地元の見聞を聞くためです。多くの住民が不安を述べておられました。「まいちゃん号」と「まいちゃんバス」の利用についてです。今は何とか自家用車で病院に行けるけど高齢者になった時、交通手段の確保が出来るのか、不安は募る。「ケアセンターいぶき」行くか奥の「吉槻診療所」に行くべきなのか。診察時間は伸びることもある中、帰りの「まいちゃん号」をどのように予約するのか。結論わからないことは役場に聞こうという結論になりました。高齢者が頼りにする役場。ますます重要となる。